



令和4年度

浜松市美術館年報

2022

目次

I	令和4年度 展覧会年間スケジュール	1
II	展覧会事業	
1	企画展 遠藤美香展	2～4
2	館藏品展 版画の系譜展	5～6
3	企画展 ハイジ展	7～10
4	特別展 名刀 泰平を切り開く展	11～15
5	公募展 浜松市第70回市展	16～17
III	教育普及事業	
1	団体鑑賞	18
2	ギャラリートーク	18
3	講演会	18
4	ワークショップ	18
5	出前講座	19
6	職場体験	19
IV	資料収集保存事業	
1	新収藏品	20
2	収蔵作品貸出歴	20
3	美術作品の修復	20
V	館内案内	
1	館内案内図	21

美術館概要

浜松市美術館は、1971（昭和46）年7月に市制60周年を記念し、静岡県内初の公立美術館として浜松城公園内に開館しました。建設費のうち約1／3が市民の寄附による市民参加の美術館です。

収蔵品の特色として内田コレクションを基礎とする18～19世紀の伝統的ガラス絵が挙げられます。ガラス絵は、民衆的絵画（民画）の代表的なもので480点を所蔵し、西洋・中国・日本と系統的に現代までの歴史をたどることができます。他に民画として、泥絵や「鬼の念仏」など大津絵の優品もあります。

また初代広重、葛飾北斎、歌川派などによる遠江ゆかりの浮世絵版画672点、中国・高麗・李朝にわたる東洋陶磁、東洋の石仏・金銅仏合わせて341点は、民画とともにコレクションの中心をなしています。

このほか北川民次や水野以文、秋野不矩、野島青茲ら静岡県出身の作家の作品、津田青楓の晩年の書画をはじめ日本の近代絵画や2,514点の現代の版画なども収蔵されています。

2018年（平成30年）3月には、トラックヤード増築・全館空調システムの改修を行ったことで天候に左右されない作品の運搬や、さらに質の高い作品の展示が可能となりました。



浜松市美術館

展覧会スケジュール

企画展

浜松ゆかりの作家による版画展

「遠藤美香展 —ここに根をはれ—」

会期：4月22日(金)～6月19日(日)



遠藤美香「甘藷」(2018年) 浜松市美術館蔵

182×91cmのベニヤ板を数枚組み合わせた、巨大な画面全面に繊細な彫りを施した作品が特徴の浜松市出身の木版画家・遠藤美香の作品をご紹介します。本展の見どころは、新作「みちびかれて」の初お披露目です。270×580cmの大作であり、2年以上かけて制作されました。本展では作品とともに、制作に使用した版木も合わせて紹介していきます。

館蔵品展

独立企画

「版画の系譜展」

会期：6月19日(日)



中川山翁「東海五三対」(1715年) 浜松市美術館蔵

遠藤美香展の開幕を記念して、浜松市美術館所蔵品による版画展を同時開催いたします。木版画から浮世絵、大津絵、創作版画、新版画、現代版画までをご紹介します。また、それぞれの様式や技法に注目し版画作品の魅力に迫ります。特に、浜松市出身の伊藤孝之、土屋光逸、人城貞夫、柳澤結子をはじめ、中川雄太郎、葉山虎之助など静岡にゆかりのある作家を紹介し、静岡の地に脈々と流れる版画の系譜を堪能できます。

企画展

三方ヶ原の合戦450年記念独立企画

「名刀 泰平を切り開く—戦国から江戸へ—」

会期：10月15日(土)～12月4日(日)



型番 花 近衛信康(室町時代) 浜松市美術館蔵

「三方ヶ原の合戦、450年を記念し、戦乱を越えて泰平の世を成した武士の礎である刀剣と、江戸の絵画や工芸品を紹介致します。精進をかざねた刀士により鍛え上げられ、武士の高潔な志を宿して芸術の域にまで達した刀剣は、神に捧げられ、また人の手により大切に受け継がれてきました。この秋、熱田神宮などの名刀の数々が、時を超えて私たちの前に姿を現します。

企画展

浜松市美術館 完全オリジナル企画

「ハイジ展 —あの子の足音がきこえる—」

会期：7月19日(土)～9月11日(日)



現物展示にこだわった本気のハイジ展! 原作者・シュベールの直筆資料、世界各国の複製本やその挿絵等を展示し、ハイジの世界への広がりを概観します。また、テレビアニメアルプスの少女ハイジで使用した原画、絵コンテ、レイアウト、セル画等を多数展示。アニメーション作りの仕組みや工夫について、作画監督・小山部羊一氏、プロデューサー・中島順三氏による制作秘話を交えて紹介します。

公募展

「浜松市第70回市展」 会期：2月14日(火)～3月15日(水)

■ 休館日 ■ 悪いやりにクッキー & ウェルカムキッズデー

2022	2023
1月 0 0 0 0 0 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1月 0 0 0 0 0 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

浜松市美術館

【ご利用案内】
 観覧時間 午前10:30～午後5:00(入館は観覧開始30分前まで)
 休館日 月曜日・年末年始(12月29日～1月1日)・夏休み(7月31日～8月31日)
 Tel.053-454-6901
 E-mail: artmuseum@city.hamamatsu.aok.jp
 Hamamatsu Municipal Museum of Art
 〒430-8588 浜松市中区松崎100番地の1
 観覧料 無料(中学生以上は別途料金がかかります)



浜松市美術館 公式SNS
 7つの「いいね」は、お返しいたします!

Instagram
 浜松市美術館

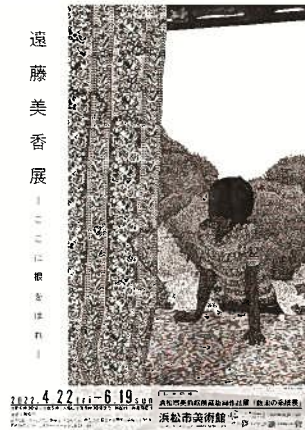
Facebook
 浜松市美術館

Twitter
 浜松市美術館

II 展覧会事業

1. 遠藤美香展 「ここに根をはれ」

種 別	企画展
会 期	令和4年4月22日（金）～令和4年6月19日（日）
休 館 日	月曜日
主 催	浜松市
観 覧 料	一般：600円（480円） 大学生・専門学校生・高校生：400円（320円） 20名以上の団体：（ ）内の料金（1人あたり） 中学生以下：無料、70歳以上：当日料金の半額 障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料
担 当	榛葉 公作（学芸員）



ポスター



展示風景

趣 旨

開館以来継続して郷土にゆかりのある作家の調査と研究を行っている。そうした中、本展では浜松出身の木版画家・遠藤美香の作品を紹介した。遠藤美香は版画協会展（東京都美術館）山口源新人賞受賞やFACE展2016-損保ジャパン日本興亜美術賞展（SOMPO美術館）グランプリ受賞など数多くの賞に輝く作家である。その特徴は、ペンで描かれたのではないかと疑ってしまうほどの細密に彫られた木版画作品である。今回自身の背丈をゆうに超える大きさを2年以上かけて制作した「みちびかれて」という作品が初お披露目した。

会期中のイベント

○「消しゴムハンコ制作講座」

日 時：令和4年5月4日（水）、6月5日（日）

10時～ ※制作者が高校生以上対象講座

14時～ ※制作者が中学生以下対象講座

場 所：2階講座室

講 師：遠藤 美香

参加費：500円

定 員：各回20名（先着順）

遠藤美香展

浜松市美術館

会期 令和4年4月22日(金)～6月19日(日)

— ここに根をはれ —

No.	作品名	制作年	技法・材質	イメージ寸法	所蔵先
1	起床 Getting up	2008	木版・和紙	91×162	沼津市庄司美術館
2	人物 Man	2009	木版・和紙	182×183	
3	五人 Five People	2009	木版・和紙	182×272	
4	写真 Photo	2009	木版・和紙	91×162	
5	かや Mosquito net	2011	木版・和紙	153×162	
6	玉のり Girl on a Ball	2011	木版・和紙	131×143	
7	格子戸 Lattice door	2012	木版・和紙	91×162	
8	雨 Rain	2012	木版・和紙	91×91	
9	江戸間 Edoma	2012	木版・和紙	91×182	
10	黒猫 Black Cat	2013	木版・和紙	28.5×35	
11	芝生 Lawn	2013	木版・和紙	91×120	浜松市美術館
12	新聞 Newspaper	2013	木版・和紙	91×114	
13	枯れ葉 Dead Leaves	2014	木版・和紙	81×91	
14	浮き島 Floating Island	2014	木版・和紙	133×145	浜松市美術館
15	蒲団 Mattress	2014	木版・和紙	60×90	
16	さつき Rhododendron indicum	2015	木版・和紙	91×90	
17	水仙 Narcissus	2015	木版・和紙	182×91	浜松市美術館
18	水槽 Aquarium	2016	木版・和紙	91×120	
19	カーテン Curtain	2017	木版・和紙	162×91	浜松市美術館
20	戯れる Play	2017	木版・和紙	20×33	
21	小屋 Hut	2017	木版・和紙	26×17	
22	眠る猫 Sleeping Cat	2017	木版・和紙	8×16	
23	宙返り Somersault	2018	木版・和紙	182×495	
24	賜物 The Gift	2018	木版・和紙	162×191	
25	紅葉 Maple	2018	木版・和紙	91×182	
26	みちびかれて In The Wake Of	2021	木版・和紙	274.5×562.5	

※所蔵先の記載のないものは、すべて作家蔵である。

2. 版画の系譜展

種 別	館藏品展
会 期	令和4年4月22日（金）～令和4年6月19日（日）
休 館 日	月曜日
主 催	浜松市
観 覧 料	無料
担 当	内山 智恵（学芸員）



展示風景

趣 旨

「遠藤美香展－ここに根をはれ－」の開催を記念して、浜松市美術館所蔵品による版画展を同時開催した。最も古い木版画の一つとされる仏教版画から、江戸時代に流行した浮世絵、大津絵、明治時代後半に新たな価値観が登場した創作版画、新版画、そして現代作家による多様な技法の版画までを紹介し版画の歴史を辿りつつ、それぞれの様式や技法に注目し版画作品の魅力に迫った。

明治時代後半になると、自画・自刻・自摺を主張した「創作版画運動」と、浮世絵の分業体制はそのままに画家の創造性を尊重した「新版画運動」が起き、画家の表現が重要視され版画の芸術性が高まった。その影響を受けてここ静岡の地でも近代版画運動が展開された。浜松市出身の伊藤孝之、土屋光逸、大城貞夫、柳澤紀子をはじめ、中川雄太郎、栗山茂など静岡県にゆかりのある作家を紹介して郷土に脈々と流れる版画の系譜を概観した。

版画の系譜展

No.	作品名	作者
1	仏版画	
2	はした	西川祐信
3	稚児と布袋	鈴木春信
4	絵本青楼美人合(大正頃復刻)	鈴木春信
5	犬ひく美人	磯田湖龍齋
6	つるべ井戸	磯田湖龍齋
7	三世沢村宗十郎 大星由良之助	勝川春草
8	市川高麗蔵 市川団十郎	勝川春草
9	千代鶴百人一首(再販)	北尾重政
10	東海道名所八景 荒井秋月	北尾重政
11	初恋	鳥居清長
12	若衆と女郎	喜多川歌麿
13	屏風前おいらん立姿	喜多川歌麿
14	東海道 濱松	葛飾北斎
15	富嶽三十六景の内 遠江山中(複製)	葛飾北斎
16	明治八年版本 3冊揃 富嶽百景	葛飾北斎
17	瀬川菊之丞 月さよ	歌川豊国
18	市川団十郎	歌川豊国
19	東海道五十三次之内 濱松 毛剃九右エ門	三代 歌川豊国 (歌川/香蝶楼 国貞)
20	見立三十六歌選 素性法師・石川五右エ門	三代 歌川豊国 (歌川/香蝶楼 国貞)
21	東海道五十三次 濱松の驛	歌川(一勇齋) 国芳
22	誠忠義士傳 大星由良之助・良雄	歌川(一勇齋) 国芳
23	保永堂版東海道五拾三次 濱松	歌川広重
24	狂歌入東海道五拾三次 濱松	歌川広重
25	行書東海道五十三次 濱松	歌川広重
26	隸書東海道 はま松	歌川広重
27	東海道五十三図会 浜松 芸人道中	歌川広重
28	遠江国光明山之図	橋本(五雲亭) 貞秀
29	月百姿 嫦娥奔月	月岡芳年
30	月百姿 金時山の月	月岡芳年
31	東海道名所之内 秋葉山	河鍋曉斎
32	鉄砲打ち	小林清親
33	阿弥陀仏	
34	鬼の念仏	
35	藤娘	

No.	作品名	作者
36	新日本百景 台北東門	恩地幸四郎
37	東京回顧図会 東京駅	恩地幸四郎
38	静物	川上澄生
39	東京回顧図会 夜の銀座	川上澄生
40	能役者	山口源
41	抽象	山口源
42	古代の賦(遺跡)	栗山茂
43	古代の賦(狩りの生活)	栗山茂
44	道祖神	中川雄太郎
45	海の伝説(海神)	中川雄太郎
46	切石の詩	中川雄太郎
47	岩の群れ 礫島を望む	大城貞夫
48	気澄む 寸座附近	大城貞夫
49	化粧の女(手鏡)	橋口五葉
50	長襦袢を着たる女	橋口五葉
51	レニア山	吉田博
52	新美人十二姿 涼み	伊東深水
53	長襦袢	伊東深水
54	髪	伊東深水
55	夜桜	土屋光逸
56	朝の富士河口湖	土屋光逸
57	三保の松原	土屋光逸
58	赤羽の雪	伊藤孝之
59	奥入瀬ノ春	伊藤孝之
60	山中の富士	伊藤孝之
61	大井川の初夏	伊藤孝之
62	「波・八想」ひ	前田守一
63	「波・八想」なぎ	前田守一
64	縁通し	海野光弘
65	追い陽	海野光弘
66	原風景への旅 I	柳澤紀子
67	西臼塚から	柳澤紀子
68	聖	柳澤紀子
69	Luminous '05	柳澤紀子
70	変容 I	柳澤紀子

3. ハイジ展 ―あの子の足音がきこえる―

種 別	企画展
会 期	令和4年7月9日（土）～令和4年9月11日（日）
休 館 日	月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日休館）ただし、8月は無休。
主 催	浜松市、Daiichi-TV
協 力	瑞鷹株式会社、日本ハイジ児童文学研究会
観 覧 料	一般：1400円（1120円） 大学生・専門学校生・高校生：1000円（800円） 20名以上の団体：（ ）内の料金（1人あたり） 中学生以下：無料、70歳以上：当日料金の半額 障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料
担 当	島口 直弥（学芸員）



ポスター



展示風景

趣 旨

本展は、浜松市美術館の完全オリジナル企画で、“ハイジ”という物語の価値や魅力を「文学」、「アニメーション」の双方から再構築している点の特徴である。はじめに、原作者シュペーリ直筆の手紙、原書や翻訳本に掲載された挿絵やイラストの原画等を展示し、原作者シュペーリの生涯を激動の時代背景と共に紹介した。次に、日本を含めた世界各国の「ハイジ」の翻訳や映画作品、絵本等を通して、海外と日本での受容を比較した。そして、テレビアニメーション『アルプスの少女ハイジ』の制作者による企画や原作の解釈、映像化のための工夫等を、当時の制作資料（原画、レイアウト、絵コンテ、セル画、背景画等）をもとに紹介し、アニメーション作りの仕組みを紐解いた。本展は展示品の多くを「実物」、「制作当初の物」で構成することにこだわった展示総数 500点を超える、まさに「本気のハイジ展」である。

会期中のイベント

○トークイベント

「アニメハイジ制作秘話ー作画監督と担当プロデューサーに聞くー」

日 時：令和4年7月9日（土）14：00～15：30

講 師：小田部 羊一（アニメハイジキャラクターデザイン）

中島 順三（アニメハイジ担当プロデューサー）

場 所：2階講座室

聴講料：無料（要観覧料）

定 員：40名（先着順）

○講演会

「世界のハイジ／日本のハイジ」

日 時：令和4年7月23日（土）14：00～15：30

講 師：川島 隆（京都大学准教授）

場 所：2階講座室

聴講料：無料（要観覧料）

定 員：40名（先着順）

○ギャラリートーク

学芸員による展示解説

日 時：令和4年7月30日（土）14：00～15：00

令和4年8月13日（土）14：00～15：00

場 所：展示室

参加費：無料（要観覧料）

定 員：40名（先着順）



トークイベント



講演会



ギャラリートーク



浜松市美術館完全オリジナル企画 「ハイジ展－あの子の足音がきこえる－」 出展目録

2022年7月9日(土)～2022年9月11日(日)

★…オリジナル ☆…複製(当時) 無…複製

第1章 ハイジ原作の旅－スイスから世界へ－

作品名	筆者、作者等	制作年	所蔵	
『ハイジ』ドイツ語原書	バウル・ハイ挿絵	20世紀前半	川島隆蔵	★
ヨハンナ・シュペーリ顔写真		19世紀後半	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
ヨハンナ・シュペーリ自筆リスト	ヨハンナ・シュペーリ筆	19世紀後半	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』ドイツ語原書	W・クラウディウス挿絵	1900年前後	川島隆蔵	★
ヨハンナ・シュペーリ後期作品		1889年	川島隆蔵	★
ヨハンナ・シュペーリ自筆手紙(挿絵画家宛)	ヨハンナ・シュペーリ筆	19世紀後半	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』挿絵原画/ラフ(ドイツ語原書)	F・W・ブファイファー画	1881年	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』ドイツ語原書(第3版)	F・W・ブファイファー挿絵	1881年	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』イラスト原画(未発表)	ハインリヒ・ズーゼミル画	20世紀前半	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
ルドルフ・ミュンガー自筆の手紙(出版社宛)	ルドルフ・ミュンガー筆	20世紀前半	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』挿絵原画(英翻訳)	ルイス・リード画	1930年代	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』翻訳本(英語)	ルイス・リード挿絵	1930年代	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』挿絵原画(スペイン語訳)	ローラ・アングラーダ画	1929年	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
『ハイジ』翻訳本(スペイン語訳)	ローラ・アングラーダ挿絵	1929年	Heidi-Archiv,Heidiseum Zürich	蔵 ★
ヨハンナ・シュペーリ長編小説『ジーナ』(第3版)	R.ベッツェルベルガー挿絵	1886年	川島隆蔵	★
『ハイジ』翻訳本(フランス語訳)と関連書籍	シャルル・トリッテン訳	1930/40年代	川島隆蔵	★
『ハイジ』映画ポスター各種			日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
『少女の友』第18巻(1925年)第3号		1925年	川島隆蔵	★
『少女の友』第28巻(1935年)第3号		1935年	川島隆蔵	★
『ハイヂ』翻訳本(日本語訳)	野上弥生子訳	1920年	日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
『ハイジ』底本(マリアン・エドワーズによる英訳)	リジー・ローソン挿絵	1909年	川島隆蔵	★
講談社版名作全集『アルプスの少女』	吉田絃二郎訳	1952年	日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
『アルプスの少女』口絵原画	落谷虹児画	1952年	講談社蔵	★
『アルプスの少女』挿絵原画	落谷虹児画	1952年	講談社蔵	★
『アルプスの少女』	吉田絃二郎訳	1949年	川島隆蔵	★
少女クラブ第25巻第2号		1947年	個人蔵	★
少女クラブ第26巻第3号		1948年	個人蔵	★
『アルプスの少女』挿絵原画(小学二年生)	松本かつぢ画	1955年	松本かつぢ資料館蔵	★
「アルプスの春」原画(別冊リボン)	高橋真琴画	1968年	真琴画廊蔵	★
「アルプスの少女ハイジ」原画	高橋真琴画	1997年	真琴画廊蔵	★
日本のハイジ絵本各種			日本ハイジ児童文学研究会蔵	★

第2章 アニメーションになったハイジ－日本から世界へ－

企画構想中のメモ書き		1973年	個人蔵	★
マーチャンダイジング用PR冊子(日本版・海外版)		1973年	個人蔵・日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
色指定(マーチャンダイジング用PR冊子)		1973年	個人蔵	☆
森やすじによる初期キャラクター設定	森やすじ画	1973年	個人蔵	☆
セル+背景(パイロットフィルム用)		1973年	個人蔵	★
『アルプスの少女ハイジ』PR計画書		1973年	個人蔵	☆
ロゴデザイン(試作)		1973年	個人蔵	★
1974年2月のスケジュール表		1974年	個人蔵	★
サブタイトル&エンディングリスト		1973年,1974年	個人蔵	★
ロケハン計画メモ	中島順三筆	1973年	個人蔵	★
ロケハンでの現地のホテル予約確認書		1973年	個人蔵	★
ロケハンチケットホルダー		1973年	個人蔵	★
ロケハン資料用お土産(カウベル)		1973年	個人蔵	★
ロケハン資料用お土産(パイプ)		1973年	個人蔵	★
ロケハン資料用お土産(ワッペン)		1973年	個人蔵	★
ロケハン写真		1973年	個人蔵	★
『ハイジ』	マルタ・ブファネンシュミット画	1944年	日本ハイジ児童文学研究会蔵	★

作品名	筆者、作者等	制作年	所蔵	
スケッチブック 1	小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
スケッチブック 2	小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
キャラクターアイデアスケッチ	小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
キャラクタースケッチ	小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
キャラクター設定	小田部羊一画	1973年	個人蔵	☆
場面設定（美術設定）	宮崎駿画	1973年,1974年	個人蔵	☆★
糸車のスケッチ	小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
アルムの山小屋（模型）			サンクリエート蔵	
脚本		1973年,1974年	日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
脚本（準備稿）		1973年	個人蔵	★
絵コンテ		1973年,1974年	個人蔵、日本ハイジ児童文学研究会蔵	☆
レイアウト		1973年,1974年	個人蔵	★
レイアウト、セル+背景		1974年	個人蔵	★
原画・作監修正（オープニング）	森やすじ、小田部羊一画	1973年	個人蔵	★
動画		1973年,1974年	個人蔵	★
申し送り		1973年,1974年	個人蔵	☆
カット袋、動画		1974年	個人蔵	★
タイムシート（撮影伝票）		1974年	個人蔵	★
作画機		1974年		★
トレスマシン				★
美術ボード		1973年,1974年	個人蔵	★
背景画		1973年,1974年	個人蔵、日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
色指定とセル画		1973年,1974年	個人蔵	★
仕上げ機、絵の具、カラーチャート				★
セル画		1973年,1974年	個人蔵、日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
セル+背景		1973年,1974年	個人蔵	★
セル+背景、レイアウト		1973年,1974年	日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
アフレコ台本		1973年,1974年	個人蔵、日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
シンクロナイザー			個人蔵	★
オープニング 35ミリ デュープ		1975年	個人蔵	★
LPレコード			渡辺浩光蔵、個人蔵	★
スケジュール帳（渡辺岳夫）	渡辺岳夫筆	1973年	渡辺浩光蔵	★
楽譜（レコーディング時）		1973年	渡辺浩光蔵	★
挿入曲一覧・楽譜		1973年	渡辺浩光蔵	★
渡辺岳夫が使用していた指揮棒			渡辺浩光蔵	★
楽譜（編曲時）	松山祐士筆	1973年	株式会社バイン・プロデュース蔵	★
岸田衿子歌詞原稿	岸田衿子筆		個人蔵	★
岸田衿子歌詞（修正）	中島順三筆		個人蔵	★
譜面			個人蔵	☆
ネリー・シュワルツのサイン入り写真			株式会社バイン・プロデュース蔵	★
FNS 歌謡祭 '74 特別賞トロフィー		1974年	渡辺浩光蔵	★
第16回児童福祉文化奨励賞盾		1974年	渡辺浩光蔵	★
昭和49年度コロムビア・ゴールデン・ディスク賞盾		1974年	株式会社バイン・プロデュース蔵	★
大杉久美子のプレゼン書類			個人蔵	★
小田部羊一イラスト原画	小田部羊一画		個人蔵	★
小田部羊一イラスト原画（浜松展の為の描き下ろし）	小田部羊一画	2022年	個人蔵	★
TCJパイロット版『アルプスの少女』8ミリ	TCJ動画センター制作		日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
紙芝居『アルプスのしょうじょ』前後編	森やすじ、千葉みどり画		日本ハイジ児童文学研究会蔵	★
カルピスこども劇場主題歌集		1975年	個人蔵	★
TVガイド		1974年	個人蔵	★
ハイジグッズ各種			日本ハイジ児童文学研究会蔵、個人蔵	★
スペイン語版ハイジコミック			日本ハイジ児童文学研究会蔵、個人蔵	★
スペイン語版LPレコード			渡辺浩光蔵	★
ハイジキャラクターパネル（展示室外）			株式会社サンクリエート蔵	

※目録の作品掲載順は展示順序と異なる場合がございます。また、展示作品は変更の可能性がありますので、ご了承ください。

4. 三方ヶ原の合戦 450 年記念 名刀 泰平を切り開くー戦国から江戸へー
- 種 別 企画展
- 会 期 令和4年10月15日(土)～令和4年12月4日(日)
- 休 館 日 月曜日
- 主 催 浜松市、中日新聞東海本社、テレビ静岡
- 協 賛 セキスイハイム東海
- 観 覧 料 一般：1,400円(1,120円)
 大学生・専門学校生・高校生：800円(640円)
 20名以上の団体：()内の料金(1人あたり)
 中学生以下：無料、70歳以上：当日料金の半額
 障害者手帳等所持者及びその介護者1名：無料
- 担 当 増井 敦子(学芸員)、内山 智恵(学芸員)



ポスター



ギャラリートークの様子

趣 旨

元亀元年(1570)から天正14年(1586)の17年間、徳川家康は浜松の地に居城を構え、多くの戦いに挑みながら天下統一への道を歩んでいった。なかでも元亀3年の「三方ヶ原の合戦」では、大軍を率いて進軍する武田信玄を迎え撃ち、武田軍の圧倒的な軍勢に大敗を喫した。合戦450年を記念して、戦乱を越えて泰平の世を成した武士の魂とも言える刀と、江戸の文化を紹介した。展示構成として、熱田神宮、日光東照宮、日光二荒山神社から神々に奉納された刀を、刀剣博物館と佐野美術館からは将軍家ゆかりの名刀を借用して展示した。また、浜松市美術館の館蔵品を中心に、江戸の文化を紹介した。

会期中のイベント

○ギャラリートーク

「熱田神宮刀剣保存会監事・森島定雄氏に聞く！やさしい日本刀の見方」

日 時：令和4年11月6日（日）14：00～（30分程度）

令和4年11月20日（日）14：00～（30分程度）

場 所：展示室

講 師：森島 定雄（熱田神宮刀剣保存監事）

参加費：無料（要観覧料）



展示風景

名刀 泰平を切り開く - 戦国から江戸へ - 目録

会期 2022年10月15日(土)～
12月4日(日)
浜松市美術館

	作品名(銘)	寸法(cm)	時代	指定区分	所蔵先
1	太刀 銘 宗吉作	刃長 78.6 反り 2.7	鎌倉時代初期～中期	重要文化財	熱田神宮
2	太刀 銘 備州長船兼光	刃長 70.0 反り 1.5	鎌倉末期～南北朝時代	重要文化財	熱田神宮
3	太刀 銘 藤原為継作	刃長 72.4 反り 1.5	南北朝時代		熱田神宮
4	短刀 銘 備州長船利光/応永卅四年二月 附 黒漆葵紋金蒔絵短刀箱	刃長 25.8	応永三十四年二月 室町時代(1427)		熱田神宮
5	脇指 銘 長曾祢興里入道盾徹 附 梅花皮鮫研出鞘脇指拵、黒漆葵紋金蒔絵刀箱	刃長 45.1 反り 0.9	江戸時代初期		熱田神宮
6	大太刀 銘 行次	刃長 87.2 反り 3.1	鎌倉時代初期	栃木県文化財	日光二荒山神社
7	太刀 銘 吉平	刃長 74.9 反り 2.6	鎌倉時代中期	重要文化財	日光二荒山神社
8	太刀 銘 景秀	刃長 71.5 反り 2.4	鎌倉時代中期～末期	栃木県文化財	日光二荒山神社
9	太刀 銘 遠近	刃長 78.6 反り 3.3	鎌倉時代中期	重要文化財	日光二荒山神社
10	大太刀 銘 備州住兼重作	刃長 93.8 反り 3.1	南北朝時代	重要文化財	日光二荒山神社
11	大太刀 無銘 伝志津	刃長 141.9 反り 3.9	南北朝時代		日光二荒山神社
12	伝 狩野了琢《徳川家康公画像》	縦 64.5 横 39.5	江戸時代		日光東照宮
13	伝 狩野永納《徳川二十将図》	縦 116.5 横 46.0	江戸時代		日光東照宮
14	太刀 銘 一	刃長 75.7 反り 2.6	鎌倉時代中期	重要文化財	日光東照宮
15	短刀 無銘 伝行光 附 白鮫合口拵	刃長 26.0	鎌倉時代末期	重要文化財	日光東照宮
16	太刀 銘 肥前住播磨大掾藤原忠国 附 糸巻太刀拵	刃長 72.1 反り 1.6	江戸時代初期	栃木県文化財	日光東照宮
17	刀 無銘 正宗(前期展示～6日)	刃長 68.2 反り 2.7	鎌倉時代末期	重要文化財	佐野美術館
18	刀 金象嵌銘 備前国兼光 (後期展示 本阿弥(花押) (名物大兼光) ～8日)	刃長 83.5 反り 2.3	南北朝時代	重要文化財	佐野美術館
19	刀 無銘 貞宗	刃長 70.9 反り 2.2	鎌倉末期～南北朝時代		佐野美術館
20	刀 無銘 伝正宗(名物武蔵正宗)	刃長 73.4 反り 1.3	鎌倉末期～南北朝時代	重要美術品	刀剣博物館 (公益財団法人 日本美術刀剣保存協会)
21	太刀 銘 利恒	刃長 66.4 反り 1.7	鎌倉時代初期		個人
22	太刀 (銘不明) 来国行	刃長 75.8 反り 2.3	鎌倉時代中期		個人
23	短刀 銘 藤原貞清 附 黒漆龍文蒔絵拵	刃長 22.3	鎌倉時代末期	重要美術品	個人
24	脇指 銘 栗原筑前守信秀/ 慶応元年十一月日	刃長 35.3 反り 0.3	江戸時代 慶応元年(1865)		個人
25	槍 銘 勢州桑名住勝吉	刃長 29.7	江戸時代初期		個人
26	刀 銘 浜松住兼法	刃長 73.1 反り 1.4	室町末期～ 安土桃山時代		個人
27	脇指 銘 浜松住兼法 附 黒漆刻鞘拵	刃長 45.5 反り 1.1	室町末期～ 安土桃山時代		浜松市美術館
28	大小拵(尾張拵)	全長 大 104.0 小 77.0	江戸時代中期		個人
29	後藤通乗(光寿)《宝尽図揃金具》	全長 小柄 9.3, 筭 21.2 鏝 7.2, 縁 3.8, 頭 3.3	江戸時代中期		個人
30	飾り献上鮫(千両鮫)	全長 大 26.0 小 21.0	江戸時代		個人

- | | | |
|---------------------------------|---|--|
| 1 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 目録 | 23 平井 顕斎
令穰水村図 | 45 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 鉄砲洲いなり富士詣 |
| 2 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 越瓜拒行図 | 24 永島 孟斎
三河後風土記之内 天龍川御難戦之図 | 46 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 品川 海苔 |
| 3 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 竹枝窠幕図 | 25 楊洲 周延
味方ヶ原合戦之図 | 47 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 大師河原 大森細工 |
| 4 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 晴池嬌龜図 | 26 幽齋 年章
味方ヶ原合戦 | 48 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 目黒不動 餅花 |
| 5 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 古柳馬蛸図 | 27 大蘓 芳年(月岡 芳年)
魁盛護普動葵酒井左衛門尉忠次 | 49 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 芝神明 生が市 |
| 6 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 洗手露蛭図 | 28 梧齋 年英
名誉十八番酒井忠嗣 | 50 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 愛宕山 毘紗門ノ使 |
| 7 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 洗手露蛭図 | 29 歌川(一恵齋) 芳幾
歌舞伎座五月狂言「世響太鼓功」 | 51 歌川 広重
大井川歩行渡 |
| 8 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 筐桑夜蚕図 | 30 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 月下の斥候 斎藤利三 | 52 歌川 広重
保永堂販東海道五拾三次 袋井 出茶屋ノ図 |
| 9 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 筐桑夜蚕図 | 31 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 雪後の暁月 小林平八郎 | 53 歌川 広重
保永堂販東海道五拾三次 見附 天竜川図 |
| 10 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 紫茄黄蜂図 | 32 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 稲葉山の月 | 54 歌川 国芳
保永堂販東海道五拾三次 浜松 冬枯ノ図 |
| 11 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 秋草金鐘図 | 33 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 祇園まち | 55 歌川 広重
保永堂販東海道五拾三次 舞坂 今切真景 |
| 12 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 猪耳蟋蟀図 | 34 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 志津が嶽月 秀吉 | 56 歌川 広重
東海道五十三対 金谷 |
| 13 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 蟹籃喧蠅図 | 35 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 五條橋の月 | 57 歌川 国芳
東海道五十三対 見附 金札鶴 |
| 14 渡辺 崋山
静岡県指定文化財 蟲魚帖稿 寒塘曝龜図 | 36 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 稲むらが崎の明ぼのの月 | 58 歌川 国芳
東海道五十三対 濱松の駅 |
| 15 渡辺 崋山
三十六歌仙図巻 | 37 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 雨後の山月 時致 | 59 歌川 国芳
東海道五十三対 舞坂の駅 |
| 16 椿 椿山
鰻魚図 | 38 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 信仰の三日月 幸盛 | 60 歌川 広重
東海道五十三対 白須賀 女谷之伝 |
| 17 渡辺 小華
花卉図 | 39 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 霜満軍営秋気清 数行過鴈月三更 謙信 | 61 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 金谷 |
| 18 福田 半香
木蓮小会図(花鳥の図) | 40 大蘓 芳年(月岡 芳年)
月百姿 きよみがた 空にも関の あるならば 月をとどめて 三保の松原 | 62 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 日坂 |
| 19 福田 半香
山水天保九如之図 | 41 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 日本橋 初鯉 | 63 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 掛川 |
| 20 福田 半香
秋景山水図 | 42 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 亀戸 初卯詣 | 64 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 袋井 |
| 21 福田 半香
西園雅集図 | 43 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 深川 八まん牡丹 | 65 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 濱松 |
| 22 平井 顕斎
白糸瀑布真景図 | 44 人物3代 歌川 豊国 背景2代 歌川 広重
江戸自慢三十六興 深川 八まん牡丹 | 66 人物3代 歌川 豊国 風景 初代 歌川 広重
雙筆五十三次 舞坂 |

67 山田 宗徧
今日の歌

68 龍溪
龍溪自画讃像

69 山田 宗徧
添状 唐物茶入 朝日山

70 歌 唐物茶入 朝日山

71 唐物肩衝茶入 銘 朝日山 不蔵庵箱書

72 棗 銘 望月 山田 宗徧 在判 冬木家伝来

73 利休所持町中桑写 宗旦在判 宗徧箱書き 文久2年(1862)遊鶴外箱書

74 原 羊遊斎
大棗 銘 秋野 羊遊斎箱書

75 高麗茶碗 伊羅保おれ口茶碗

76 高麗茶碗 伊羅保茶碗 龍溪箱書

77 高麗茶碗 熊川茶碗

78 高麗茶碗 狂言袴

79 和茶碗 織部茶碗 呼びつき茶碗

80 和茶碗 唐津焼 銘 へら鷲 江戸千家二代 自得齋宗雪箱書

81 和茶碗 絵唐津焼 銘 皮鯨

82 和茶碗 銘 常盤 豊蔵仿信海箱書

83 和茶碗 紅紫野焼 銘 あげぼの

84 和茶碗 銘 萩

85 萩山 金吾
特別出品 葵紋付赤楽茶碗 個人蔵

86 三彩唐草文壺

87 山田 宗徧
黒楽茶碗 銘 くひ違い 不蔵庵龍溪箱書

88 4代目 楽一入
赤楽茶碗 宗徧箱書

89 4代目 楽一入
萩写茶碗 銘 金海

90 4代目 楽一入
利休形黒茶碗

91 5代目 楽宗入
四方筒茶碗

92 6代目 楽左入
赤楽茶碗 銘 青苔

93 7代目 楽長入
黒楽茶碗 銘 時雨 龍溪箱書

94 9代目 楽了入
黒楽茶碗

95 青磁 布目水指

96 伊賀水指

97 古信楽水指 絵青海波文蓋付

98 伝宗伯
古備前 小耳付水指

99 永楽10代 西村了全 永楽11代 西村保全
伝来写水指 吸江齊花押、箱書

100 備前水指 宗俊箱書

101 4代目 楽一入
赤楽四方水指替蓋付 了入箱書

102 尾形 乾山
錆絵牡丹唐草文大鉢

103 尾形 乾山
四方水指 銘 楓

104 千宗旦
竹尺八切花入 銘 是楽 宗徧箱書

105 山田 宗徧
竹尺八切花入 銘 初霜 不蔵庵龍溪箱書

106 山田 宗徧
花入一重切 銘 七賢 今日庵宗徧朱銘

107 山田 宗徧
尺八花入 銘 萩野

108 龍溪
尺八花入 是楽形 不蔵庵龍溪箱書

109 龍溪
花入 銘 八つ橋 箱書穿波

110 10代目 楽旦入
竹一重切写花入 銘 冬籠 惺齋書付

111 山田 宗徧
茶杓 銘 夕立 共筒 宗徧書付

112 山田 宗徧
茶杓 銘 五月雨 共筒 宗徧書付

113 杉木 普斎 共筒 龍溪
茶杓

114 龍溪
茶杓 銘 二節

115 細川 三斎
茶杓 銘 山路

116 千家2代 少庵 宗淳 共筒 宗旦
茶杓 銘 虎

117 遠州流8世 小堀 宗中
茶杓 銘 女郎花

118 宗徧流6代 山田 宗学
茶杓 銘 うき雲

119 千宗拙
茶杓

120 青磁 袴腰香炉

121 小川 破笠
古墨形香合

122 三宅 七羊
赤楽香合《一葉》

123 柴田 是真
備翁作写琵琶形香合

124 原 羊遊斎
一閑張心経香合 不昧公在判、羊遊斎箱書

125 楽旦入
黒楽圓香合

126 琵琶形螺鈿香合

127 古伊賀伽藍香合

128 紅花緑葉 烏花文香合

129 堆黒 屈輪香合

130 白粉解蒔絵香合 宗徧在判

131 8代目 中村 宗哲
白粉解本字杉葉文蒔絵香合 宗哲箱書

132 織部焼香合 付龍溪箱

133 黄瀬戸寿字文香合(九谷写交趾)

134 5代目 楽宗入
桐文楽香合

135 染付橋杭香合

5. 浜松市第70回市展

種 別 公募展

会 期 令和5年2月14日(火)～3月15日(水)

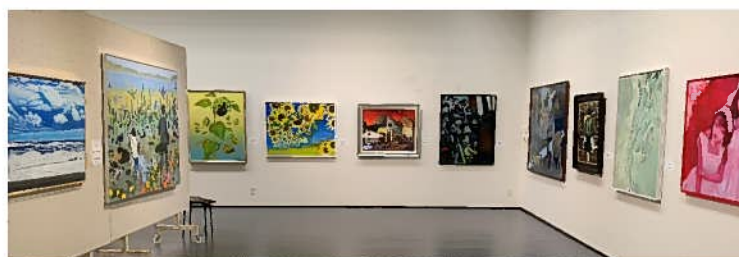
主 催 浜松市

観 覧 料 無料

担 当 市川 智久、内山 智恵



ポスター



展示風景

趣 旨

美術の創作と鑑賞を勧め、郷土の文化・芸術の向上を図るため、広く市民から作品を募集し、令和4年度第70回市展を開催した。

応募点数 304点

絵画 174点

彫刻 12点

書 35点

工芸 19点

写真 64点

入選者数 193点

絵画 125点

彫刻 8点

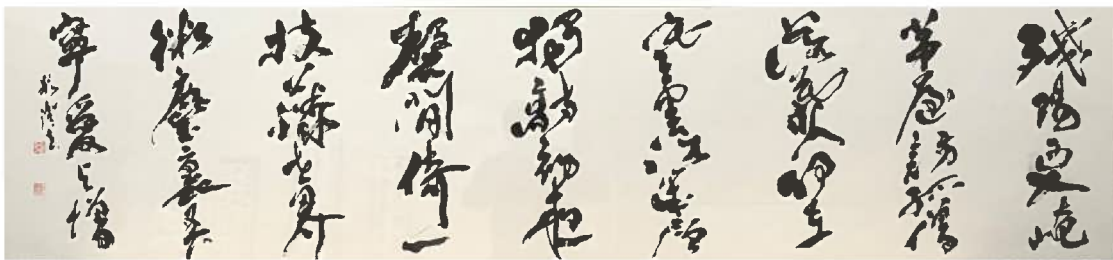
書 21点

工芸 10点

写真 29点



《絵画部門》「街角のカフェ」 池田吉仁



《書部門》「李商隱詩」 河島彩澄



《写真部門》「ひととき。」 藤田正男



《彫刻部門》「両面宿儺坐像」 杉浦康子

Ⅲ 教育普及事業

1. 団体鑑賞（学校や施設等の団体の利用の受け入れ）

展覧会名	利用団体数	利用人数
遠藤美香展・版画の系譜展	5団体	100人
ハイジ展	20団体	391人
名刀展	3団体	95人
	合計	586人

2. ギャラリートーク（学芸員・作家等による作品解説）

展覧会名	日程	利用人数
遠藤美香展・版画の系譜展	4/29	7人
	5/3	16人
ハイジ展	7/30	53人
	8/13	61人
	9/8 (※川島 隆氏・ちば かおり氏特別GT)	68人
名刀展	11/6 (※講師：森島 定雄 氏)	40人
	11/20 (※講師：森島 定雄 氏)	46人
	合計	291人

3. 講演会（作家・専門家等による講演）

展覧会名	日程	講師	利用人数
遠藤美香展・版画の 系譜展	5/7	遠藤 美香氏(出身 高校生徒限定講演)	42人
ハイジ展	7/9	小田部 羊一氏・中 島 順三氏	40人
	7/23	川島 隆氏	40人
	合計		122人

4. ワークショップ（展覧会の内容に応じた表現・鑑賞活動）

展覧会名	日程	講師	利用人数
遠藤美香展・版画の 系譜展	5/4午前	遠藤 美香	16人
	5/4午後	遠藤 美香	19人
	6/5午前	遠藤 美香	18人
	6/5午後	遠藤 美香	20人
	合計		73人

5. 出前講座（美術館の収蔵品や展覧会等に関する講座〔※他団体等主催事業への参加含む〕）

項目	日程	場所・団体	講師	利用人数
その他	6 / 16	聖隷クリストファー大学	島口 直弥	30人
	7 / 14	浜松青年会議所	島口 直弥	50人
	11 / 8	静岡大学	島口 直弥	30人
教員研修	10 / 27	浜松市教育センター(初任者研修)	島口 直弥 榛葉 公作	50人
合計				160人

6. 体験活動・実習（中学生の職場体験、大学生の博物館実習、インターンシップ等）

項目	学校名	人数
職場体験	静岡県立浜松西高等学校 中等部	2人
	浜松市立雄踏中学校	2人
博物館実習	長岡造形大学	3人
	京都芸術大学	
	京都産業大学	
インターンシップ	常葉大学	2人
	北海道大学	
合計		9人

IV 資料収集保存事業

1. 新収蔵品

No.	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	受入れ区分
1	遠藤美香	みちびかれて	2021	紙本・木版	274.5×562.5	寄贈
2	遠藤美香	紅葉	2018	紙本・木版	91.0×182.0	寄贈

2. 収蔵作品貸出歴

No.	貸出作品	展覧会会場	展覧会名	展覧会開催期間
1	前田青邨「三條大橋」	岐阜県美術館	開館40周年記念 前田青邨展 究極の白、天上の碧—近代日本 画の到達点—	2022. 9. 30-11. 13
2	中村宏「国鉄品川」	東京ステーションギャラリー	鉄道と美術の150年展	2022. 10. 8-2023. 1. 9
3	牧金之助「浜松城櫓酒井 の太鼓打場組上ダ五枚 続」	浜松市博物館	三方ヶ原の戦いと家康伝承展	2022. 10. 22-12. 4
4	平井顕斎「白糸瀑布真景 図」	静岡市美術館	東海道の美 駿河への旅展	2023. 2. 11-3. 26
5	遠藤美香「芝生」 遠藤美香「浮き島」 遠藤美香「水仙」 遠藤美香「カーテン」 遠藤美香「紅葉」	クリエイト浜松 (浜松市創造都市・文化振 興課)	一版一色摺り 遠藤美香木版画 展	2023. 2. 28-3. 12

3. 美術作品の修復

No.	作者名	作品名
1	野島 青茲	網
2	山下 青厓	扇面 9扇



野島青茲「網」



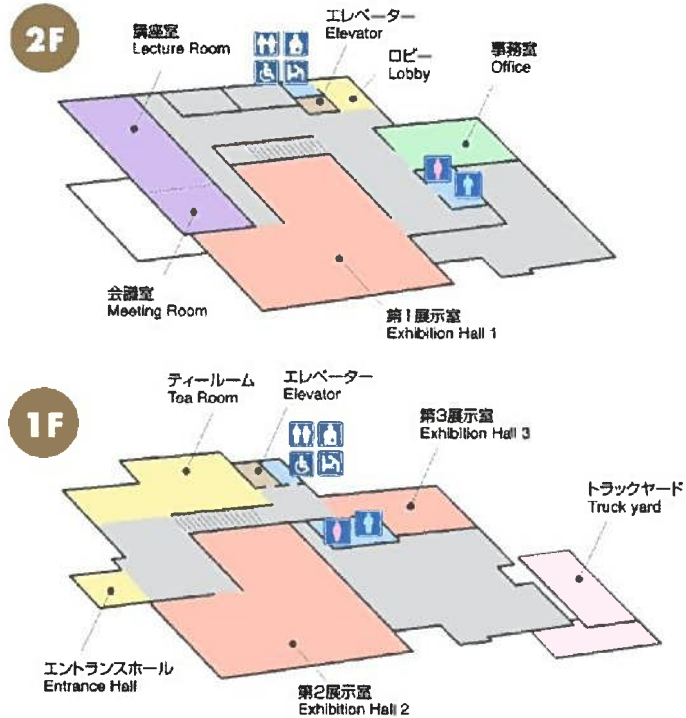
山下青厓
「朝顔蜻蛉図」



山下青厓
「梅鳥図」

V 館内案内

館内案内



ビクトグラム一覧

-  多目的トイレ
Multi purpose toilet
-  女性用トイレ
Ladies' room
-  男性用トイレ
Men's room

-  撮影禁止
No photos
-  禁煙
No smoking
-  携帯電話使用禁止
Please do not use mobile phones in the exhibition areas
-  作品に手を触れないでください
Please do not touch the artworks
-  作品を汚す恐れのある筆記用具は使用しないでください
Please do not use writing instruments that may damage the artworks

主要構造	Main Structure	鉄筋コンクリート造、地上2階一部地階および塔屋		
建築面積	Building area	1,305.58㎡		
延床面積	Floor area	2,631.02㎡		
敷地面積	Land area	4,211.00㎡		
施設内容	Facilities	第一展示室	Exhibition Hall 1	322.26㎡
		第二展示室	Exhibition Hall 2	318.20㎡
		第三展示室	Exhibition Hall 3	35.67㎡
		講堂	Lecture Room	100.10㎡
		会議室	Meeting Room	40.62㎡
		トラックヤード	Truck yard	140.89㎡
開館		昭和46年7月1日	Established on July 1, 1971	
設計者		水野 瑛朗	Designed by Teruro Mizuno	

編集・発行 浜松市美術館
住 所 〒430-0947
浜松市中区松城町 100-1
電 話 (053) 454-6801
F A X (053) 454-6829
ホームページ <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/index.html>
e-mail art-muse@city.hamamatsu.shizuoka.jp
twitter <http://twitter.com/hamamatsushibi>